

創刊にあたって

学校法人別府大学理事長
別府大学短期大学部学長

西村 駿一

別府大学地域社会研究センターの論文集「地域社会研究」の創刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

平成10年、学校法人別府大学は創立90周年を迎えました。5月21日の記念式典はじめ、国際シンポジウム、国際美術展など90周年を祝う行事の中で、地域社会研究センターも読売新聞社との共催で7回連続の公開講座「別府湾」を行い、また、宇佐、大分、日田での90周年シンポジウム開催など、地域社会で大きく注目される活動を展開して参りました。

これからの大学の在り方を示す、こうした地域に根差す活動は、今後ますます重要なものとなっております。学校法人別府大学も、「21世紀への創造」を目指し、大学改革、個性化への歩みを着実に続けています。大学院の充実、今春創設される明豊中学、高校など、大学院から幼稚園まで備える学園となって参りました。一方、宇佐教育研究センターに続き、日田市に日田歴史文化教育センターも開設し、地域社会との繋がりを深めております。今後、皆様方の一層のご支援を賜わりながら、地域に開かれ、貢献できる学園づくりに邁進したいと考えております。

地域社会研究センターは、地域社会に学問の目を向け、地域の現実の生活から新しい学問を教師と生徒が共に作り出すことを目指しています。と同時に、地域に貢献できる調査研究を行うことを志向しています。この度創刊される「地域社会研究」が、学内外の研究者が調査・研究を発表する場として、大学と地域の新たなレベルで繋ぐツールにならんこと願っております。

創刊にあたり、皆様方積極的なご参加とよりご一層のご支援をお願い申し上げます。